



平成24年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年3月16日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 稲葉製作所
コード番号 3421 URL <http://www.inaba-ss.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲葉 明
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 江口 勤
四半期報告書提出予定日 平成24年3月16日 配当支払開始予定日 平成24年4月9日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリストおよび機関投資家向け)

TEL 03-3759-5181

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年7月期第2四半期の連結業績(平成23年8月1日～平成24年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年7月期第2四半期	13,109	9.9	△84	—	17	—	△202	—
23年7月期第2四半期	11,923	△2.1	△265	—	△157	—	△226	—

(注) 包括利益 24年7月期第2四半期 △200百万円 (—%) 23年7月期第2四半期 △197百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年7月期第2四半期	△11.91	—
23年7月期第2四半期	△12.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年7月期第2四半期	43,329	31,492	72.7
23年7月期	44,783	31,828	71.1

(参考) 自己資本 24年7月期第2四半期 31,492百万円 23年7月期 31,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年7月期	—	8.00	—	8.00	16.00
24年7月期	—	8.00	—	—	—
24年7月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年7月期の連結業績予想(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,800	5.2	700	45.5	900	26.5	370	105.1	21.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年7月期2Q	17,922,429 株	23年7月期	17,922,429 株
24年7月期2Q	939,791 株	23年7月期	939,791 株
24年7月期2Q	16,982,638 株	23年7月期2Q	17,788,258 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。金融商品取引法に基づき四半期報告書に添付する四半期レビュー報告書は、本日受領予定であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況から、自動車産業を中心に急速な回復を見せたものの、タイでの洪水の影響等により下振れ懸念が出ております。また、円高の長期化や欧州債務危機等が輸出産業の利益を圧迫し、企業を取り巻く環境は依然として不透明な状況となっております。

このような経営環境の中で、当社グループの鋼製物置セグメントにおきましては、昨年の10月に新製品のゴミ保管庫(ダストボックス・ミニ)、自転車置場(BPタイプ)を市場投入しましたほか、オフィス家具セグメントにおきましては、生産ラインの見直しを行うとともに、顧客の要望に合致した製品の販促に努めたことから、売上は増加となりましたが、鋼板単価の上昇による影響等もあり収益が圧迫されました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比9.9%増加の13,109百万円、営業損失は84百万円(前年同期は265百万円の営業損失)、経常利益は17百万円(前年同期は157百万円の経常損失)となりました。

また、減損損失92百万円、投資有価証券評価損38百万円等を特別損失に計上した結果、四半期純損失は202百万円(前年同期は226百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(セグメント売上高) : 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)

セグメントの名称	金額(百万円)	前年同期比(%)	構成比(%)
鋼製物置	8,825	121.2	67.3
オフィス家具	4,283	92.2	32.7
合計	13,109	109.9	100.0

(鋼製物置)

昨年の2月より小型収納庫、一般物置におきまして新色の豊富なカラーバリエーションを取り揃え、代理店への拡販に努めた結果、出荷棟数で前年同期比各約123%、約117%を達成しました。また、ガレージシリーズも順調に推移し前年同期比約119%となり、全体としての出荷棟数は前年同期比約120%となりました。

その結果、売上高は東北地方を中心に復興需要もあり8,825百万円(前年同期比21.2%増)、セグメント利益は増収効果により899百万円(前年同期比109.1%増)となりました。

(オフィス家具)

「デスク構造及び生産体制見直し」に伴い生産ラインのレイアウト変更・再編成を行いました。軌道に乗せるのに若干時間を要し、生産性が一時低下した局面もありました。また、依然として企業のオフィス投資は盛り上がり、熾烈な価格競争が続いている状況にあります。

その結果、売上高は4,283百万円(前年同期比7.8%減)、セグメント損失は513百万円(前年同期は285百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が555百万円、受取手形及び売掛金が944百万円減少したこと等により1,454百万円減少して、43,329百万円となりました。負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、支払手形及び買掛金が667百万円減少したこと等により1,118百万円減少して、11,837百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べ、四半期純損失の計上と配当金の支払等により利益剰余金が338百万円減少したこと等により336百万円減少して、31,492百万円となりました。その結果、自己資本比率は72.7%となりました。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,155百万円減少の4,980百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の獲得は、116百万円（前年同期比83百万円の収入減）となりました。これは、減価償却費290百万円、売上債権の減少942百万円等による資金増加要因と、税金等調整前四半期純損失110百万円、退職給付引当金の減少104百万円、仕入債務の減少667百万円等の資金減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の使用は、1,135百万円（前年同期は242百万円の回収）となりました。これは、定期預金の払戻8,500百万円等による収入と、定期預金の預入9,100百万円、有形固定資産の取得による支出299百万円、保険積立金の積立による支出241百万円等による支出があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の使用は、136百万円（前年同期比534百万円の支出減）となりました。これは、配当金の支払135百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月5日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,636,110	14,080,726
受取手形及び売掛金	7,589,922	6,645,344
商品及び製品	2,028,417	2,078,993
仕掛品	169,495	242,916
原材料及び貯蔵品	371,301	330,057
その他	450,815	507,068
貸倒引当金	△38,635	△41,214
流動資産合計	25,207,426	23,843,893
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,807,114	3,789,322
土地	11,781,179	11,781,179
その他（純額）	876,570	787,706
有形固定資産合計	16,464,865	16,358,209
無形固定資産		
投資その他の資産	116,506	119,246
その他	3,010,421	3,024,819
貸倒引当金	△15,271	△16,836
投資その他の資産合計	2,995,150	3,007,982
固定資産合計	19,576,522	19,485,438
資産合計	44,783,949	43,329,331
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,206,345	6,538,559
未払法人税等	24,204	17,756
賞与引当金	237,918	232,455
その他	1,903,968	1,577,816
流動負債合計	9,372,437	8,366,588
固定負債		
退職給付引当金	2,439,643	2,335,523
役員退職慰労引当金	374,020	370,588
その他	769,551	764,540
固定負債合計	3,583,214	3,470,652
負債合計	12,955,652	11,837,241

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,132,048	1,132,048
資本剰余金	763,500	763,500
利益剰余金	30,754,278	30,416,070
自己株式	△805,753	△805,753
株主資本合計	31,844,073	31,505,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,776	△13,774
その他の包括利益累計額合計	△15,776	△13,774
純資産合計	31,828,296	31,492,090
負債純資産合計	44,783,949	43,329,331

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)
売上高	11,923,978	13,109,086
売上原価	9,310,886	10,191,877
売上総利益	2,613,092	2,917,208
販売費及び一般管理費	2,878,431	3,001,297
営業損失(△)	△265,338	△84,089
営業外収益		
受取利息	15,130	12,466
受取配当金	4,449	5,610
作業くず売却益	50,171	49,757
雑収入	39,767	37,033
営業外収益合計	109,518	104,867
営業外費用		
支払利息	373	505
自己株式取得費用	984	—
為替差損	287	2,329
雑損失	12	14
営業外費用合計	1,657	2,849
経常利益又は経常損失(△)	△157,477	17,928
特別利益		
固定資産売却益	—	6,223
貸倒引当金戻入額	47,675	—
保険解約返戻金	—	1,864
特別利益合計	47,675	8,087
特別損失		
減損損失	49,996	92,987
投資有価証券評価損	82,643	38,178
その他	40,382	5,245
特別損失合計	173,023	136,411
税金等調整前四半期純損失(△)	△282,825	△110,395
法人税、住民税及び事業税	6,774	6,656
法人税等調整額	△63,379	85,295
法人税等合計	△56,605	91,951
四半期純損失(△)	△226,220	△202,346

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成24年1月31日)
四半期純損失(△)	△226,220	△202,346
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,803	2,001
その他の包括利益合計	28,803	2,001
四半期包括利益	△197,416	△200,344
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△197,416	△200,344

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成23年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成24年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△282,825	△110,395
減価償却費	283,256	290,806
減損損失	49,996	92,987
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△51,897	4,144
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,223	△5,463
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△47,434	△104,120
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	16,070	△3,432
受取利息及び受取配当金	△19,579	△18,076
投資有価証券評価損益(△は益)	82,643	38,178
自己株式取得費用	984	—
売上債権の増減額(△は増加)	809,664	942,471
たな卸資産の増減額(△は増加)	△169,470	△82,754
仕入債務の増減額(△は減少)	△52,742	△667,785
その他	△430,651	△268,969
小計	181,790	107,592
利息及び配当金の受取額	20,969	19,238
法人税等の支払額	△16,960	△16,510
法人税等の還付額	14,361	6,778
その他	△373	△505
営業活動によるキャッシュ・フロー	199,788	116,593
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8,500,000	△9,100,000
定期預金の払戻による収入	9,500,000	8,500,000
有形固定資産の取得による支出	△276,250	△299,367
保険積立金の積立による支出	△78,193	△241,902
その他	△402,821	5,366
投資活動によるキャッシュ・フロー	242,735	△1,135,902
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△284,042	—
自己株式取得のための金銭の信託の増減額(△は増加)	△242,699	—
配当金の支払額	△142,823	△135,453
その他	△621	△621
財務活動によるキャッシュ・フロー	△670,186	△136,074
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△227,662	△1,155,383
現金及び現金同等物の期首残高	5,876,037	6,136,110
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,648,374	4,980,726

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年8月1日至平成23年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼製物置	オフィス家具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,278,662	4,645,316	11,923,978	—	11,923,978
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,278,662	4,645,316	11,923,978	—	11,923,978
セグメント利益又は損失(△)	430,079	△285,819	144,259	△409,598	△265,338

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△409,598千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オフィス家具」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては49,996千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年8月1日至平成24年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼製物置	オフィス家具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,825,314	4,283,772	13,109,086	—	13,109,086
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,825,314	4,283,772	13,109,086	—	13,109,086
セグメント利益又は損失(△)	899,218	△513,673	385,545	△469,634	△84,089

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△469,634千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オフィス家具」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては92,987千円であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。